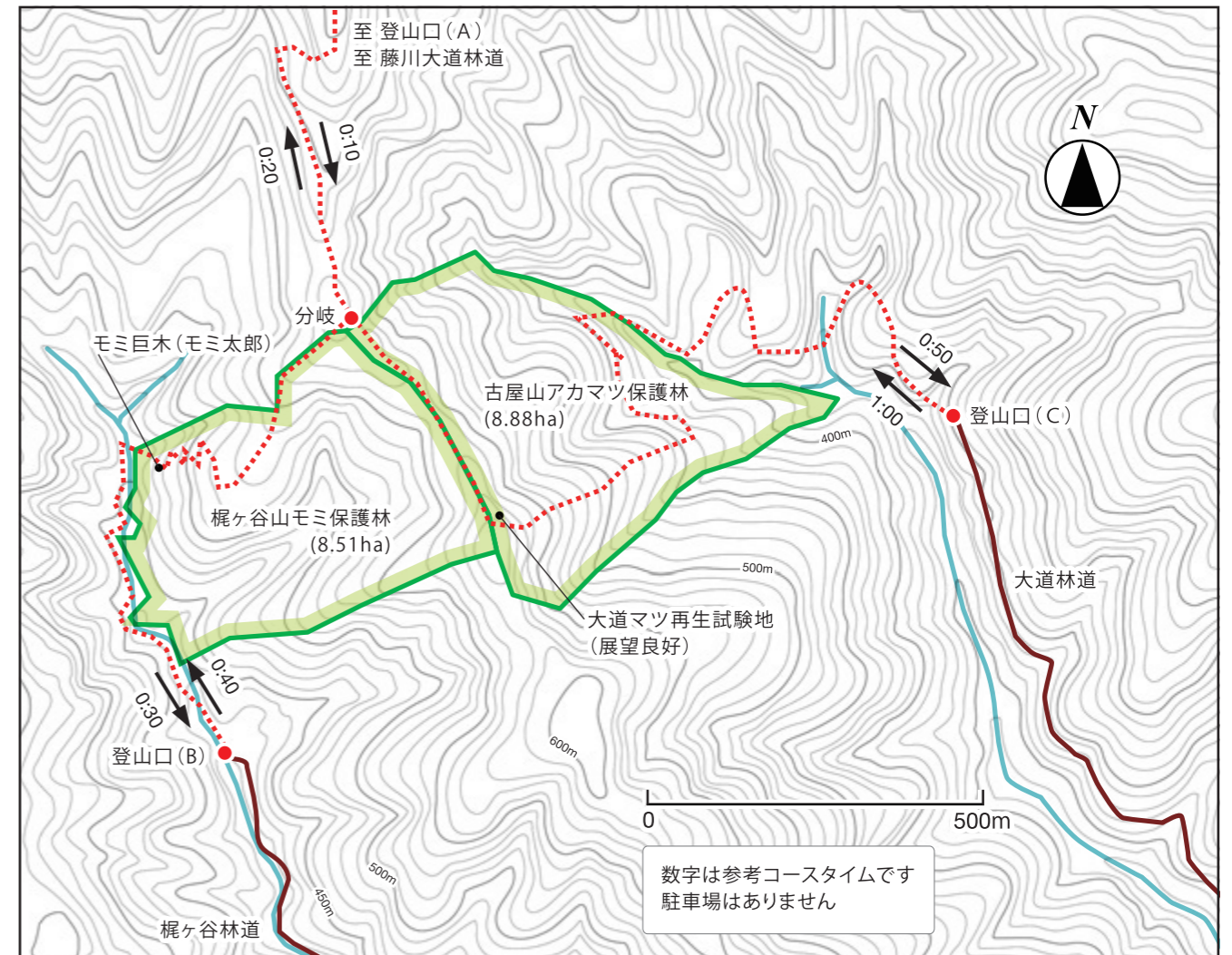
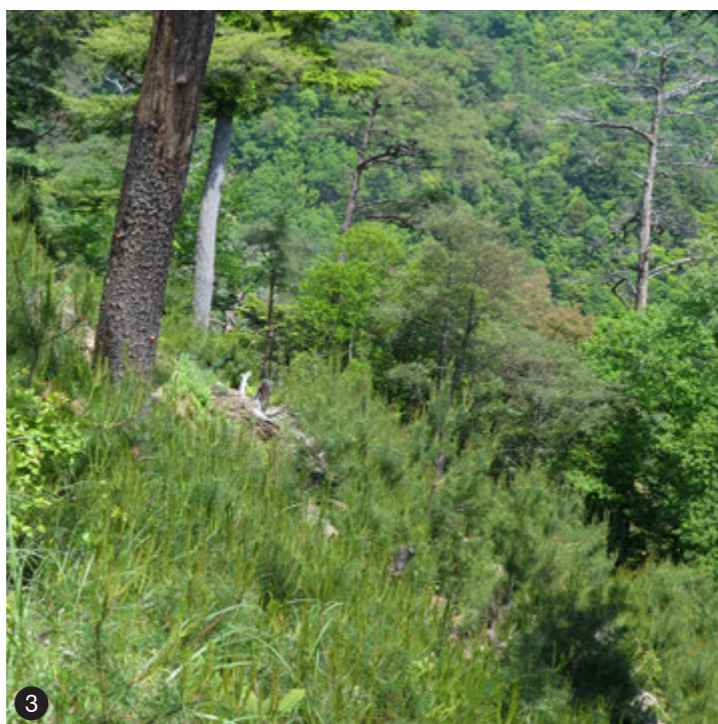
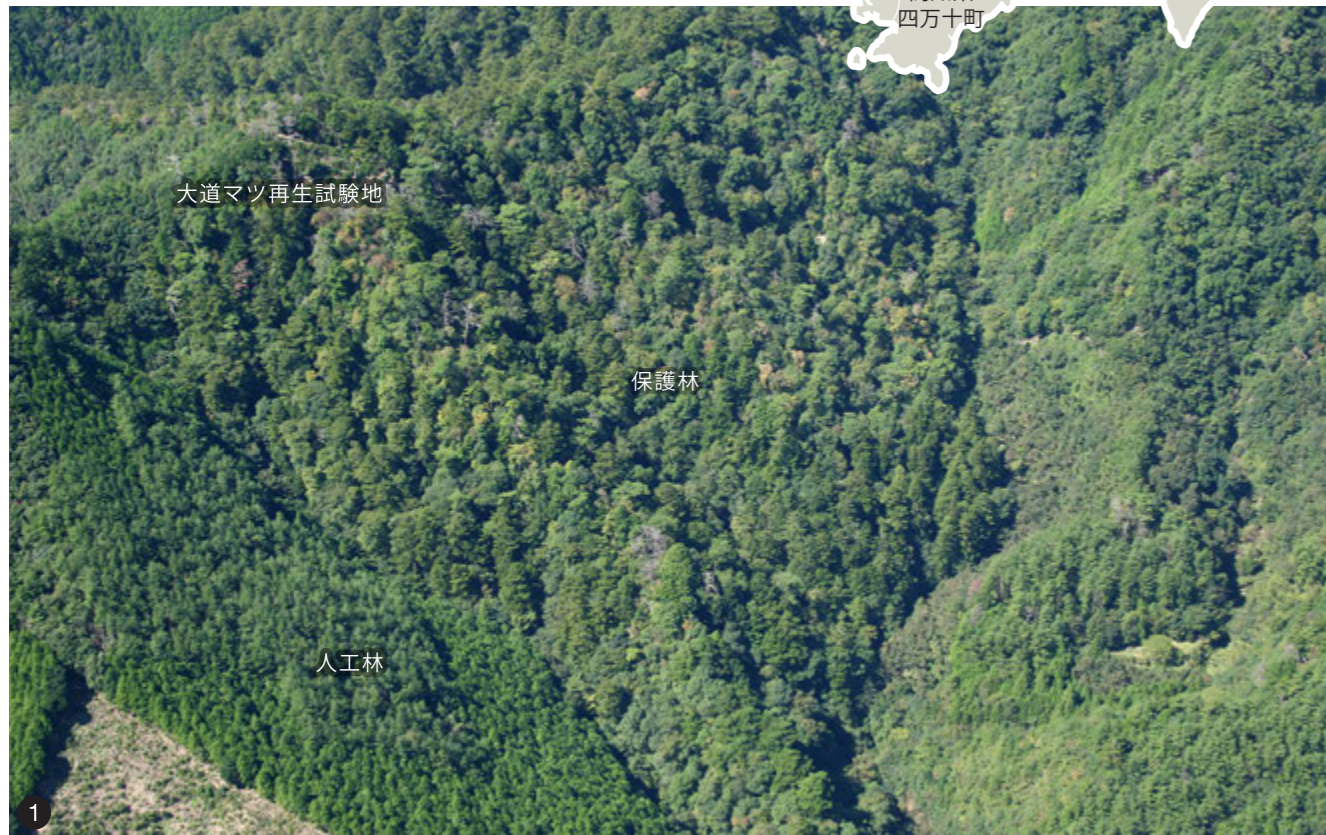


ふる や やま  
**古屋山アカマツ林木遺伝資源保存林**

アカマツは名前のおり樹皮が赤いマツで、  
 広い範囲に分布し、マツタケができることでも有名です。  
 この地域のアカマツは古くから「**大道マツ**」として知られ、  
 それを保存するために保護林に指定されました。



数字は参考コースタイムです  
 駐車場はありません



① 上空から見た保護林。残念ながら近年マツ枯れが深刻になり、現在残っている大道マツは100本程度です。そのため地かきや、草刈りを行い大道マツを再生させる事業を行っています。② 大道マツの樹形。枝下高が高く、樹幹、木理ともに通直であるのが特徴です。昔は家の梁材としてよく使われました。③ 大道マツ再生試験地内の様子。稚樹が勢いよく育っています。④ オニツクバネウツギ。コツクバネウツギの変種で大変珍しい木です。若い枝や葉に1mm程の毛が密生するのが特徴です。⑤ マツオウジ。アカマツなどの倒木に生えるキノコです。